

「あいりん^{ちいき}地域のまちづくり^{けんとうかいぎ}検討会議」についてよくある

ご質問と答え^{こたえ} *

質問 1：あいりん^{そうごう}総合センターを^{かいたい}解体して、なくしてしまうのですか？

答え：センターがなくなることはありません。げんざい^{かいたい}予定されているのは、「解体」ではなく、^{たてももの}建物の「^{たてかえ}建て替え」です。

質問 2：^{よりば}寄り場（^{ひやといろうどうしじょう}日雇労働市場）は、^{いてん}移転されてしまうのですか？

答え：まず、^{よりば}寄り場をあいりん^{ちいき}地域の外に^{そと}移転することはありません。また、「げんざい^{ばしよ}ある場所の中で^{たてかえ}建て替える」という案も、今後のせんたくしの中に含まれています。

市長が示した方針は、^{じゅうたく}住宅や^{びょういん}病院を含めたあいりん総合センターのあいりん^{ちいきない}地域内への^{いてん}移転であり、^{じゅうたく}住宅や^{びょういん}病院などの一部の^{いちぶ}施設だけが^{いてん}移転する案も、^{あん}そもそも^{ぶぶんいてんあん}部分移転案として、^{のこ}せんたくしの中に残されています。

質問 3：^{よりば}寄り場（^{ひやといろうどうしじょう}日雇労働市場）は^{しゅくしょう}縮小されてしまうのですか？

答え：市長が示した^{しゅくしょう}縮小という方針は、あくまで^{たてももの}建物の大きさの話です。センターが^{あつか}扱っている「^{しごと}仕事の^{かず}数」を^へ減らすことはありません。また、そのほか、センターが行っているいろいろな^{きのう}やくわり（機能）も縮小されることはありません。

→裏面に続きます

* 以下の回答は、西成特区有識者座談会報告書およびそれに基づいて橋下市長が示した今後の方針を、大阪市特別顧問の鈴木亘が分かりやすくまとめたものです。ただし、今後の会議の議論のゆくえ次第では、市長が示した方針とは異なる結論が打ち出される可能性があります。市長が示した方針で最も重要なことは、「地域の意見を最優先して今後の方針を決める」ということなのです。

質問 4: 病院 (社会医療センター) はなくなってしまうのですか?

答え: なくなることはありません。建て替え後の大きさやその中身 (どんな診療科にするか) については、これから議論が行われます。

質問 5: この会議は、12月までに、なにもかも決めてしまうのですか?

答え: ちがいます。12月に打ち出したいと考えているのは、まずは、大きな方向性・方針までです。市営住宅や病院、労働関係の各施設、労働者等の居場所など、あいりん総合センターの各施設の配置案 (移転するのかどうか、移転するならどこか)、この地域の今後のまちづくりのあり方、地域の将来のために何が必要かまでを打ち出せばよいと考えています。

その後の具体的な肉付けの話は、来年1月以降も1年以上の時間をかけて議論をつづけたいと思っています。つまり、あいりん地域のまちづくりの議論は、今後も続きます。労働行政の今後のあり方についても、この会議の方針が示された後、検討がはじまることになっています。

質問 6: この会議は決定機関なのですか?

答え: ちがいます。あくまで市長・知事が方針を決めるために、地域の意見をまとめ、報告するための会議です。ただし、市長は「この会議で話し合われる地域の意見を最優先して方針を決定する」と言っていますので、みなさんの意見が今後の政策にきちんと反映される大きなチャンスです。